

# 縄南中通信



平成26年 7月 7日 発行

2014年度 第4号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

## 「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

3年生修学旅行で、生徒ががんばり「縄南道」に評価をいただきました。

5月29日（木）～31日（土）の2泊3日の日程で、3年生が長野県飯田地区方面で体験学習を中心とした修学旅行を実施しました。昨年までは白馬方面での体験学習でしたが、今年度より飯田地区方面となりました。1泊目は、駒ヶ岳にロープウェイで雪景色の残る山を体験し、その後、全員でラフティング、キャンプファイヤーをしました。2泊目は、午前中にカヌー、溪流釣り、ツリークライミング、マウンテンバイク、乗馬と分かれて体験し、午後は南信濃、豊丘村、伊賀良、高森町、千代の5地区に分かれて農村の民家に宿泊させていただき体験を実施しました。3日目の午前中に全員が合流し、かぶちゃん村で昼食をとり帰校するといった行程でした。今回の修学旅行では体験学習が中心でしたが、日頃の「縄南道」でも意識しているように、宿泊先の地元の方々が縄手南中学校の3年生を迎えて下さるに当たり、3年生を喜ばせよう、楽しませようとしていろいろな思いを持って準備をしてくださって当日を迎えていることをしっかりと考え、その期待に応えることのできる修学旅行でありたいという思いを持って実施しました。あいさつができること、指示をしっかりと聞くこと、きちんとした言葉使いができること、自分の行動とマナーをしっかりと考えること等、日頃の学校生活でも常にこだわっていることに対して、修学旅行先の多くの方々から高い評価をいただくことができました。日頃「縄南道」でこだわっている当たり前の事柄に対して、3年生の行動を高く評価していただき、「これだけきちんとしている学校なら」「これだけみんなが楽しんでくれているのなら」と、雷や雨のアクシデントがあっても時間が遅れた行程に対しても、無理を押して生徒たちが計画した予定通りのことをすべて消化させていただくことができました。特に感心されたのは、あいさつができ、お礼が言えることと、話をする人の方に素早く体を向けて聞くことでした。当たり前のことですが、日頃、日本一を目ざして意識していることを評価していただけた生徒たちにとっては胸を張ることのできた3日間でした。現地の方々との触れ合いにより、大切な心のあり方を学んだ時間でもありました。この経験をぜひ、縄手南中学校の前進に繋がりたいと思っています。



修学旅行でのラフティング

2年生の遠足も成功でした。

3年生の修学旅行中に、2年生は大阪を知るという目的で、自ら計画を立てるといふ遠足を実施しました。今回の計画は、事前に生徒がグループを作り、いろいろな調べ学習を実施し、自分たちが選択した大阪城、防災センター、海遊館等の魅力を授業でプレゼンテーションし、当日は大阪地下鉄周遊券を活用して回りました。グループ行動をするということで、事前の諸注意、当日の計画、実際の場面でのマナー等、しっかりと考えて行動しなければならないことが数多く求められましたが、3年生の修学旅行に負けない本番での行動でした。2年生は昨年、国語の時間に乾龍介（本校アドバイザースタッフ）先生からプレゼンテーションに関する授業も受けています。そのことが

この経験も生かされた取り組みとなりました。

**日本一の体育祭に挑戦！ 日本一の心で創造する！ ～6月24日（火）の体育祭より～**

6月22日（日）が雨となり、24日（火）に本校第28回体育祭が順延され、開催されました。全校生徒は「日本一の体育祭」を目ざし頑張りました。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」を実行し、全校生徒が自ら力一杯の全力疾走を心がけ、その全力疾走に対しては心からの声援を送ろうとしました。また、体育委員や体育祭実行委員をはじめとしたすべての裏方の頑張りはもとより、PTAの方々や校区校外の方々をはじめとしたお世話になるすべての方々に対する感謝の気持ちを全力疾走で表そうと望みました。人は一生懸命に取り組む姿に感動を覚えます。自分たちが一生懸命に頑張るのは当たり前、その一生懸命で周りの方々に感動を与えて応援していただけるような体育祭を目ざしました。今回の体育祭は当初の22日（日）は雨となり、早朝からの生徒たちによる懸命のグラウンド整備も追いつかず、24日（火）に順延となりましたが、その懸命のグラウンド整備の様子にエールを送ってくださった方もたくさんおられました。22日（日）には、野田義和市長様も来校して頂き、全校集会で順延の知らせを聞く生徒たちの様子を評価していただき、励ましの言葉を頂く場面もありました。仕切り直しとなった24日（火）は、開会式、ラジオ体操から始まり、来賓の方々や多くの方々から拍手を頂きました。3年生の組体操では縄手南初の5段塔の挑

戦を成功させ、女子のチアダンスと共に、厳しい習と心のこもった練習の成果を発揮できた演技となりました。これらの演技も多くの方々からエールを頂きました。体育祭は保護者の皆様や、PTA役員の皆様、校区校外指導協議会を始めとする地域諸団体の皆様に支えられています。生徒たちが自ら全力疾走を心がけることや、お世話になっているの方々への感謝の気持ちがしっかりと持てたなら、体育祭は成功であったと感じています。22日（日）から数え、3日間の時間を要した体育祭でしたが、体操服に袖を通した時から体育祭は始まり、すべての演技が終わり、家に帰っておうちの人に感謝し、頑張ったことを話すまでが体育祭です。生徒達の頑張りを聞いていただけたでしょうか。ありがとうございました。



3年生男子組体操と女子チアダンス

**1番を目ざすこと！ 夢を叶えるためにまず1歩を踏み出すこと！**

**～大リーグ 元セントルイスカージナルス 田口壮氏の講演から～**

6月25日（水）、元セントルイスカージナルス、フィラデルフィアフィリーズ他で活躍されていた田口壮氏に来校頂き、全校生徒対象に講演をいただきました。日本プロ野球からアメリカ大リーグに渡られ、日本人唯一の2度のワールドチャンピオンとされましたが、多くの努力や決意に秘めた教えを頂きました。1つは「絶対に1番を目ざすこと」、1番を目ざした多くの挑戦からオンリーワンも生まれると教えていただきました。また、「夢に挑戦しようと思えば、勇気をもって1歩を踏み出すこと」と教えていただきました。また、田口氏はメジャーリーグ現役当時、1軍選手枠25人中、25番目の選手であったこともありました。しかしながら、チームから必要とされ、25番目の選手がモチベーションを高く頑張れば、チームを優勝に導くことができ、逆に25番目の選手が腐れば簡単にチームを衰退させることができるということも話されていました。「チームを優勝に導くためには決してレギュラーだけの力ではない。」それを田口氏は身を持って実践されました。日本一に挑戦するために、縄手南中学校は今後も1歩を踏み出して行こうと思っています。